

政策分析シート（令和3年度）

| | | | | | |
|----------|----------------------|------|--------|----|-----|
| 政策名 | 生涯健康で生き生きと生活できるまじの実現 | 政策No | 01 | 部名 | 健康部 |
| 関連部名 | 福祉部 | 部長名 | 石原 | 内線 | 420 |
| 行政評価事業体系 | 分野 | I | 生涯健康都市 | | |

目的 区民一人一人が生涯にわたって、心身ともに健康で生き生きと生活できるような環境を整備する。

| 指標 | 幸福実感指標名 | 指標の推移 | | | 指標に関する質問文 |
|----|-------------|-------|------|-----|---|
| | | 30年度 | 元年度 | 2年度 | |
| ① | 健康実感度 | 3.33 | 3.39 | - | 心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？ |
| ② | 運動の実施度 | 3.15 | 3.22 | - | 体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？ |
| ③ | 健康的な食生活の実感度 | 3.42 | 3.42 | - | 健康的な食生活を送ることができていると感じますか？ |
| ④ | 体の休息度 | 3.29 | 3.32 | - | 体を休めることができていると感じますか？ |
| ⑤ | 心の安らぎの実感度 | 3.50 | 3.58 | - | 心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？ |
| ⑥ | 医療の充実度 | 3.40 | 3.44 | - | お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？ |
| ⑦ | | | | | |

| 指標 | 政策の成果とする指標名 | 指標の推移 | | | | | 指標に関する説明 |
|----|-----------------------|---------|---------|---------|---------|----------|-------------------------------|
| | | 30年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度見込み | 目標値(8年度) | |
| ① | 健康寿命(男性) (歳) | 80.5 | 80.6 | 80.7 | 80.8 | 83.0 | 65歳健康寿命(65歳の平均自立期間に65を加算した数値) |
| ② | 健康寿命(女性) (歳) | 82.6 | 82.7 | 82.8 | 82.9 | 83.1 | 65歳健康寿命(65歳の平均自立期間に65を加算した数値) |
| ③ | 早世(男性) (3ヶ年平均) | 74.2 | 72.9 | 72.0 | 71.1 | 70.0 | 40~64歳の標準化死亡率*(100以上は全国より高い) |
| ④ | 早世(女性) (3ヶ年平均) | 82.4 | 102.6 | 90.0 | 78.9 | 60.0 | 40~64歳の標準化死亡率*(100以上は全国より高い) |
| ⑤ | 健康状態がよいと感じる人の割合(%) | 42.4 | 44.1 | 45.0 | - | 50.0 | G A H調査 |
| ⑥ | 国民健康保険被保険者1人あたり医療費(円) | 324,438 | 332,403 | 331,370 | 329,404 | - | 総費用額÷平均被保険者数 |
| ⑦ | 特定健診受診率(%) | 44.7 | 44.7 | 41.4 | 51.0 | 60.0 | 見込み及び目標値は第三期実施計画の目標値 |

(単位：千円)

| 行政コスト計算書 | 勘定科目 | 元年度 | 2年度 | 差額 | 勘定科目 | 元年度 | 2年度 | 差額 |
|-------------------|------|------------|------------|----------|-------------------|-------------|-------------|-----------|
| | 行政費用 | 給与関係費 | 901,250 | 952,044 | 50,794 | 地方税等 | 7,622,459 | 7,284,994 |
| 物件費 | | 1,697,101 | 1,918,306 | 221,205 | 国庫支出金 | 103,359 | 465,764 | 362,405 |
| 維持補修費 | | 0 | 509 | 509 | 都支出金 | 14,658,488 | 15,429,543 | 771,055 |
| 扶助費 | | 580,861 | 602,871 | 22,010 | 分担金及び負担金 | 564,056 | 527,561 | ▲ 36,495 |
| 補助費等 | | 26,063,040 | 26,611,789 | 548,749 | 使用料及び手数料 | 18,949 | 16,707 | ▲ 2,242 |
| 減価償却費 | | 17,004 | 16,720 | ▲ 284 | その他行政収入 | 4,742,604 | 4,802,388 | 59,784 |
| 不納欠損・貸倒引当金繰入額 | | 218,211 | 225,166 | 6,955 | 行政収入合計(a) | 27,709,915 | 28,526,957 | 817,042 |
| 賞与・退職給与引当金繰入額 | | 80,730 | 134,856 | 54,126 | 行政収支差額(a)-(b)=(c) | ▲ 1,968,399 | ▲ 1,971,172 | ▲ 2,773 |
| その他行政費用 | | 120,117 | 35,868 | ▲ 84,249 | 金融収支差額(d) | 3 | 1 | ▲ 2 |
| 行政費用合計(b) | | 29,678,314 | 30,498,129 | 819,815 | 通常収支差額(c)+(d)=(e) | ▲ 1,968,396 | ▲ 1,971,171 | ▲ 2,775 |
| 特別費用(g) | | 7,486 | 7,712 | 226 | 特別収入(f) | 421 | 0 | ▲ 421 |
| 特別収支差額(f)-(g)=(h) | | ▲ 7,065 | ▲ 7,712 | ▲ 647 | 当期収支差額(e)+(h) | ▲ 1,975,461 | ▲ 1,978,883 | ▲ 3,422 |

| 貸借対照表 | 勘定科目 | 元年度 | 2年度 | 差額 | 勘定科目 | 元年度 | 2年度 | 差額 |
|----------|-------------|-------------|-------------|-----------|--------------|-----------|-----------|---------|
| | 流動資産 | 収入未済 | 1,376,630 | 1,283,460 | ▲ 93,170 | 流動負債 | 84,071 | 100,306 |
| 不納欠損引当金 | | ▲ 300,908 | ▲ 267,900 | 33,008 | 還付未済金 | 42,155 | 53,880 | 11,725 |
| その他の流動資産 | | ▲ 1,420,928 | ▲ 1,211,878 | 209,050 | 特別区債 | 0 | 0 | 0 |
| 有形固定資産 | | 0 | 0 | 0 | 賞与引当金 | 41,916 | 46,426 | 4,510 |
| 固定資産 | 土地 | 0 | 0 | 0 | その他の流動負債 | 0 | 0 | 0 |
| | 建物 | 0 | 0 | 0 | 固定負債 | 449,467 | 491,427 | 41,960 |
| | 建物減価償却累計額 | 0 | 0 | 0 | 特別区債 | 0 | 0 | 0 |
| | 工作物等 | 0 | 0 | 0 | 退職給与引当金 | 449,467 | 491,427 | 41,960 |
| | 工作物等減価償却累計額 | 0 | 0 | 0 | その他の固定負債 | 0 | 0 | 0 |
| | 無形固定資産 | 126 | 112 | ▲ 14 | 負債の部合計 | 533,538 | 591,733 | 58,195 |
| | 建設仮勘定 | 0 | 0 | 0 | 正味財産 | ▲ 831,939 | ▲ 757,966 | 73,973 |
| | その他の固定資産 | 46,679 | 29,973 | ▲ 16,706 | 正味財産の部合計 | ▲ 831,939 | ▲ 757,966 | 73,973 |
| | 資産の部合計 | ▲ 298,401 | ▲ 166,233 | 132,168 | 負債及び正味財産の部合計 | ▲ 298,401 | ▲ 166,233 | 132,168 |

財務諸表に関する特記事項等

○行政費用の約9割を国民健康保険及び後期高齢者医療保険加入者への医療給付の補助費等が占めている。補助費等は、新型コロナウイルス感染症対策の補助事業により増加した。その他行政費用は一般会計繰入金である。
 ○行政収入では、新型コロナウイルス感染症の影響による保険料減免措置に伴う減収補填や、その他の各種対策事業に対する補助金等により、国庫及び都支出金が増となっている。

政策の現状・課題・今後の方向性

| | |
|--------|---|
| 現状 | <p>○荒川区では、がんや糖尿病・高血圧などの生活習慣病にかかる人が多い。特に、脳血管疾患や心疾患などのあらゆる生活習慣病を引き起こす「糖尿病」や「がん」による40歳から64歳までの働き盛り世代の死亡（早世）が健康寿命に大きく関わっていることから、糖尿病対策とがん対策を推進することが重要である。</p> <p>○インフルエンザ（A/H1N1）は季節性インフルエンザとしての対策に移行した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症については、感染者対応、ワクチン接種、情報発信等に努めているが、国内で感染の再拡大がみられるなど、依然として予断を許さない状況である。</p> |
| 課題 | <p>○糖尿病は進行すると、合併症により失明、人工透析となるなど、長期に及ぶ治療の要因になる。病気にならないための取り組み（一次予防）を強化するとともに、疾病との境界領域にいる人たちの重症化を防ぐこと（二次予防）が、喫緊の課題になっている。</p> <p>○がんについては、食生活、運動不足などの生活習慣を見直す事による予防や、検診による早期発見が可能で、早いほど治癒率も高いといった正しい知識を普及啓発し、受診率の向上を図る必要がある。</p> <p>○今後、強毒性の新型インフルエンザを想定した健康危機管理体制の整備を図る必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症については、迅速かつ適切な感染者対応に取り組むとともに、集団免疫を獲得し、地域における感染拡大を防ぐため、ワクチン接種を引き続き進めていく必要がある。</p> |
| 今後の方向性 | <p>○健康増進計画（平成29～令和4年度）の重点目標である「健康寿命の延伸」や「早世減少」を目指すために、「糖尿病対策」と「がん対策」を強化するとともに、7つの分野（ロコモティブシンドローム対策・減塩と食生活改善・運動と身体活動・禁煙と受動喫煙防止・アルコール対策・こころの健康づくり・歯と口の健康）の施策を実施し、区民や関係機関・団体と共に健康づくりを支援する環境の整備を進めていく。</p> <p>○強毒性の新型インフルエンザ発生時を想定した対策の整備を進め、関係機関においてより一層の連携を構築するとともに情報の共有化を図っていく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症について、国・東京都・区内関係機関と連携し、感染者対応やワクチン接種などの対策を迅速かつ適切に進めることにより、区民の安全・安心を確保していく。</p> |

政策を構成する施策の分類

| 施策名 | 政策推進のための分類 | | 分類についての説明・意見等 |
|---------------------|------------|--------|--|
| | 3年度設定 | 4年度設定 | |
| 青壮年期の健康増進 | 重点的に推進 | 重点的に推進 | 区民の幸せの基盤となる健康を保持、増進することは区の重要課題であり、来るべき本格的な少子・高齢化社会に向け、医療費等の社会的コストの低減も欠かせない施策であることから当該施策の優先度は極めて高い。 |
| 健康危機管理体制の整備 | 継続 | 重点的に推進 | 結核や新型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の予防・まん延防止の対策を講ずること、並びに食中毒等の発生防止を図ることは、区民の良好な生活環境維持に必要なため継続して重点的に実施する。 |
| 地域医療の充実 | 継続 | 重点的に推進 | 休日等の診療体制を整備することは、区民の安心と疾病の早期対応につながるため、継続して実施するとともに、東京女子医科大学東医療センター移転後の病院整備について重点的に推進する。 |
| 健康を支える保険・医療体制の適正な運営 | 重点的に推進 | 重点的に推進 | 区民の健康の保持・増進の基盤である保険・医療制度を安定的に運営していくための取り組みを積極的に展開していく。 |